

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 102-0081

住 所 東京都千代田区四番町5番地6日テレ四番町ビル1号館3階

氏 名 株式会社ティップネス

代表取締役社長 執行役員 清水 明浩 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ティップネス		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市宮前区宮崎2-10-10		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	N	生活関連サービス業、娯楽業
	中分類	80	娯楽業
主たる事業 の内容	フィットネスクラブを運営している。		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		1,562 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022 年度 ~ 2024 年度 (報告年度 2024 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 2,813	(実) 2,825	(実) 2,812	(実) 2,897	(実) 2,729
	(調) 2,797	(調) 2,846	(調) 2,766	(調) 2,897	(調) 2,713
削減率		(実) -0.4 %	(実) 0.0 %	(実) -3.0 %	(実) 3.0 %
		(調) -1.8 %	(調) 1.1 %	(調) -3.6 %	(調) 3.0 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量	延床面積				原単位等の単位	t-CO2/m2
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値	
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)		
排出量原単位等の値	0.1509	0.1516	0.1509	0.1554	0.1464	
活動量の値	18,631	18,631	18,631	18,631	-	
排出量原単位等の削減率		-0.5 %	0.0 %	-3.0 %	3.0 %	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	前年度と比べると来客数の増加に伴い温室効果ガス排出量増となった。宮前平のヒートポンプを修繕し、高効率となった。				
第2年度	前年度まではコロナ禍の影響で必要以上の換気を行っていたが、対象年度からは必要最低限の換気にしたため、エネルギー効率が改善したことが削減に繋がったと思われる。				
第3年度	猛暑の影響により空調使用量が増加したため、エネルギー効率が改善できなかったと思われる。				
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)			2024年度の猛暑の影響により空調稼働率の増加が影響し、エネルギー使用量も増加したため、目標が達成できなかった。		
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)			各店舗への省エネ活動の啓発を行っていく。 順次高効率設備への更新を行っていく。		

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>①推進体制の整備 全部署が関わる「エネルギー管理委員会」を発足し、会議を毎月実施する。 ②エネルギー使用量の管理 電力の使用実態の把握のため、デマンド監視装置を設置し、時間外エネルギー使用量を徹底管理する。 ③照明設備対策 本部における昼休みの消灯を実施する。 店舗の休館日における館内消灯を徹底する。 店舗における高効率照明器具の導入を推進する。 ④事務用機器対策 コピー、プリンターの使用を抑制する。</p>
<p>第1年度</p>	<p>①推進体制の整備 全部署が関わる「エネルギー管理委員会」を発足し、会議を毎月実施する。 ②エネルギー使用量の管理 電力の使用実態の把握のため、デマンド監視装置を設置し、時間外エネルギー使用量を徹底管理する。 ③照明設備対策 本部における昼休みの消灯を実施する。 店舗の休館日における館内消灯を徹底する。 店舗における高効率照明器具の導入を推進する。 ④事務用機器対策 コピー、プリンターの使用を抑制する。</p>
<p>第2年度</p>	<p>①推進体制の整備 全部署が関わる「エネルギー管理委員会」を発足し、会議を毎月実施する。 ②エネルギー使用量の管理 電力の使用実態の把握のため、デマンド監視装置を設置し、時間外エネルギー使用量を徹底管理する。 ③照明設備対策 本部における昼休みの消灯を実施する。 店舗の休館日における館内消灯を徹底する。 店舗における高効率照明器具の導入を推進する。 ④事務用機器対策 コピー、プリンターの使用を抑制する。</p>
<p>第3年度</p>	<p>①推進体制の整備 全部署が関わる「エネルギー管理委員会」を発足し、会議を毎月実施する。 ②エネルギー使用量の管理 電力の使用実態の把握のため、デマンド監視装置を設置し、時間外エネルギー使用量を徹底管理する。 ③照明設備対策 本部における昼休みの消灯を実施する。 店舗の休館日における館内消灯を徹底する。 店舗における高効率照明器具の導入を推進する。 ④事務用機器対策 コピー、プリンターの使用を抑制する。</p>
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>エネルギー管理委員会を毎月開催し、エネルギーの使用状況を確認しながら、上記の運用改善などを行った。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ( )	×	
その他 ( )	×	

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ( )	×
EV、PHV、FCV	×	その他 ( )	×

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

6 基準年度からのエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の推移 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	2,813 t-CO <sub>2</sub>	2,825 t-CO <sub>2</sub>	2,812 t-CO <sub>2</sub>	2,897 t-CO <sub>2</sub>
原油換算エネルギー 使用量	1,524 KL	1,520 KL	1,505 KL	1,562 KL
事業所の数	12	12	12	12

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量 (t-CO <sub>2</sub> )			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量 (t-CO <sub>2</sub> )			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度